

選定技術の概要

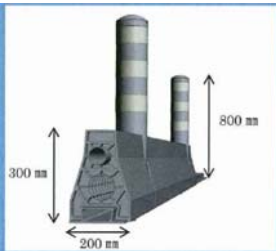
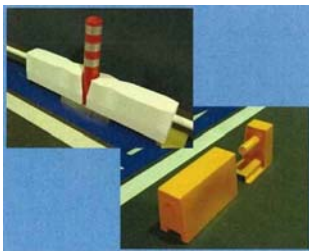
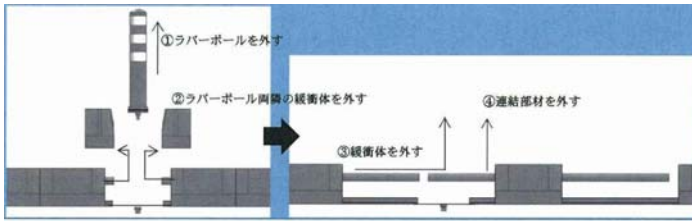
選定技術の概要

No.1	企業名	NKC開発(株)
概要	保護パイプ付きのワイヤロープ4本を取り付けた弱支柱をアンカープレートで固定する構造	
【飛び出し防止対象車両】 大型車および小型車 【構造の特性】 ・設置幅は20～30cmであり、狭小幅に設置可能。 ・支柱高さ70cmのビームタイプであり、前方や側方を見通しやすい。 ・ベースプレートのボルトを4本外すだけで支柱が外れるため、任意の場所で人力(簡易な工具を使用)による開口部の設置が可能。		
		《試作品(1段タイプ)》
《概要図》		

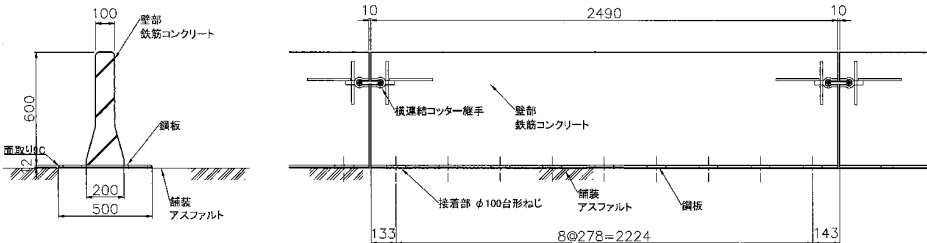
選定技術の概要

No.2	企業名	積水樹脂(株)
概要	連続性を担保した2本のビーム(角型鋼管)によって構成される鋼製補強体を連結させ、アンカーにて固定する構造	
【飛び出し防止対象車両】 大型車および小型車 【構造の特性】 ・設置幅は15cmであり、狭小幅に設置可能。 ・鋼製補強体は高さ56cmのビームタイプであり、前方や側方を見通しやすい。 ・部材はボルトのみで連結されているため、任意の場所で人力(簡易な工具を使用)による開口部の設置が可能。		
		《鋼製補強体イメージ図》
《試作品の状況》		《開口部設置イメージ図》

選定技術の概要

No.3	企業名	積水樹脂(株)
概 要	ポリエチレン樹脂製の緩衝体を下地レールを介して連結させた構造	
【飛び出し防止対象車両】 小型車(※) (※)今後の大型車への適用の可能性を期待して選定 【構造の特性】 ・設置幅は20cmであり、狭小幅に設置可能。 ・緩衝体の高さは30cmであり、前方や側方を見通しやすい。 ・部材は樹脂製の連結部材を介して連結されているため、任意の場所で人力(簡易な工具を使用)による開口部の設置が可能。		
		 《全体イメージ図》
 《寸法図》		 《試作品の状況》
		 《開口部設置イメージ図》

選定技術の概要

No.4	企業名	日本ヒューム(株)
概要	鉄筋コンクリート製の壁部材を、継手により縦断方向に連結して一体性を持たせ、鋼板を介して接着剤にて舗装面に固定する構造	
【飛び出し防止対象車両】 大型車および小型車		
【構造の特性】 ・コンクリート壁部材の設置幅は10～20cm(鋼板幅50cm)であり、狭小幅に設置可能。 ・コンクリート壁部材の高さは60cmであり、前方や側方を見通しやすい。 ・コンクリート壁部材は1ブロック当たり重量約500kgのため、任意の場所で人力(簡易な工具を使用)による開口部の設置が可能。		
		
《概要図》		
		
《設置イメージ図(橋梁部)》		
		
《設置イメージ図(トンネル部)》		
		
《開口部設置イメージ図》		

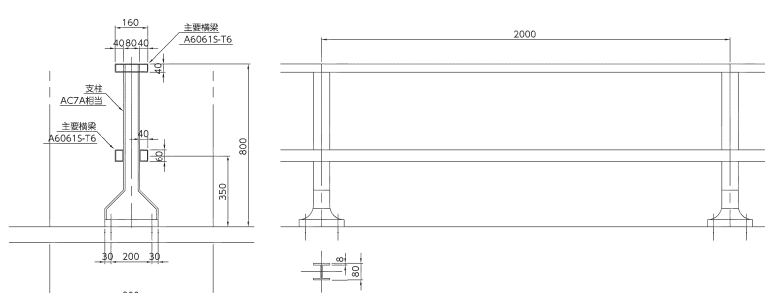
選定技術の概要

No.5	企業名	(株)住軽日軽エンジニアリング
概 要	アルミ合金製の2本のビームを取り付けた支柱をアンカーにて固定する構造	

【飛び出し防止対象車両】
大型車および小型車

【構造の特性】

- ・設置幅は16～26cmであり、狭小幅に設置可能。
- ・支柱高さ80cmのビームタイプであり、前方や側方を見通しやすい。
- ・部材はボルトのみで連結されているため、任意の場所で人力(簡易な工具を使用)による開口部の設置が可能。



《概要図》



《設置イメージ図(橋梁部)》



《アスファルト用ハイブリッドアンカー》